

(1) 基本方針

情報通信技術の発達が進む現在の社会において遠隔地の情報伝達はますます容易になり、多くの人がこれまでに持つネットワークを活かして協働できるチャンスが広がっています。現在の社会で私たちは、このまちと世界全体との新たなつながりでさえも、容易に作ることができます。静岡青年会議所は、「先進100万人都市 輝く静岡」を実現するため、このまちと世界とのネットワークを増やして、まちの認知度を高める運動や、多くの人がまちに訪れてこのまちの交流人口や定住人口を増加させる運動に取り組んできました。現在の社会におけるこれらのチャンスを活かして、今後、更なる運動へと発展させていかなければなりません。

本年度当室では、日本全国や世界全体に対して視野を広げた会員が、新たな知見や経験をさらに組織に還元できる体制を構築し、このまちと私たち会員の更なる発展のため、多くの関係諸団体と協働できる体制を築きます。そして、会員と組織が、多くの関係者と協働することによる相乗効果を最大化させて、静岡市での国際アカデミー開催に向けて万全な体制を築きます。同時に、まちの更なる活性化を促進する行動計画を再構築します。

そのために、国際アカデミーの静岡市開催を目指し、誘致活動に取り組んでいきます。そして、国際アカデミー開催による効果を最大のものとするため、会員の参画意識を高めて、まちの人の国際アカデミーに対する認知度を向上させます。また、多くの関係者とのネットワークを増やし、より強固なものにしていきます。出向渉外活動では、他LOMや出向先の長所を取り入れて、他LOMや出向先に貢献できる関係を作り、人と人、組織と組織の協働を促進します。そして、静岡青年会議所のこれまでの取り組みを検証し、「先進100万人都市 輝く静岡」を実現するため今後必要な更なる取り組みを、会員全員が共有します。

会員と組織が日本全国、世界全体とつながり、協働体制が築かれることによって、多くの人が認知し、訪れるまちへと推し進める力はこれまでより大きなものとなり、まちの活性化を持続可能なものにします。人と人が多様なかたちでつながることで、会員一人ひとりが持つ力は向上し、未来への可能性は大きく広がります。国際化社会に向けた協働体制の確立によって、このまちは世界に輝く静岡となり、「胸が高鳴るSHIZUOKA」の創造を実現するものと確信いたします。